



じょ れい そう りよ れい かい  
除霊僧侶 海霊

東京某所  
高層ビルが立ち並ぶ一角に  
今でも整備されない坂がある  
幾度も整備工事を試みたが  
其の都度人身事故が起き中止した  
だれもがこの坂を「祟り坂」と  
呼ぶようになった

これが  
祟り坂か

たぐち えつお

★ 操作方法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。  
※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。  
※ iPad の方は、上下スクロールでページを送ることができます。



普通の者には  
見えなくとも  
この私には  
おまえさんの姿が  
見えておるぞ



私は各地で起きる  
怪現象を解いて歩く  
托鉢中の僧侶である



階段の真ん中に  
座っておる  
おまえさんの姿がな

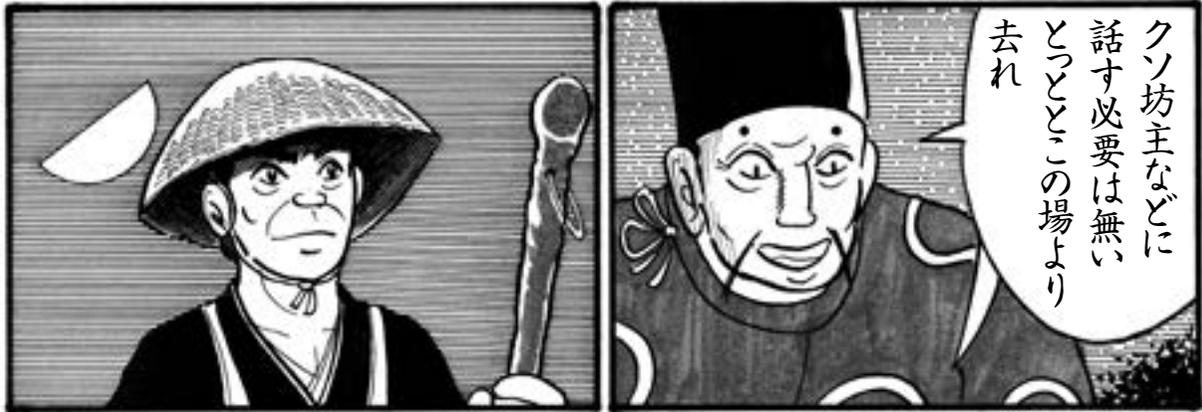


でもおまえさんは  
もうこの世の  
者では無い



まだこの世に  
未練が  
あるのかな？





クソ坊主などに  
話す必要は無い  
とつとつこの場より  
去れ



おまえを  
霊視して  
分かった  
おまえは  
北畠頭家  
だな

丁度今夜が  
おまえさんの家臣が  
この場所に集まる日  
目的は  
何だ



そうだろうなア  
未練があるから  
悪さをするんだ  
ろうから



余の  
邪魔を  
するでない

黙っていたのでは  
わからん  
何とか言ったら  
どうなんだ



ほう良く分かったな  
クソ坊主が  
余が今日まで  
この場所に居るのに  
こだわるのを

今一度  
余の天下を  
築くため  
今宵予の忠実な  
家臣たちが  
蘇るのを待つて  
おったのじゃ  
永い年月をな

だから誰にも  
邪魔させん



なあここで  
待つていても  
恨みなど  
晴らすことなど  
出来ないぞ

やつと口を  
利いたな



ほー  
目的とは  
なんだ

恨みなど  
もう忘れておる  
余が今日まで  
未練がましく  
この世におけるのは  
目的がおじやる  
からだ



おろか者め  
何百年  
待とうが  
家臣など  
来ないぞ

おのれ  
余を  
おろか者だと  
申したな  
許さぬ  
斬つて  
捨てる



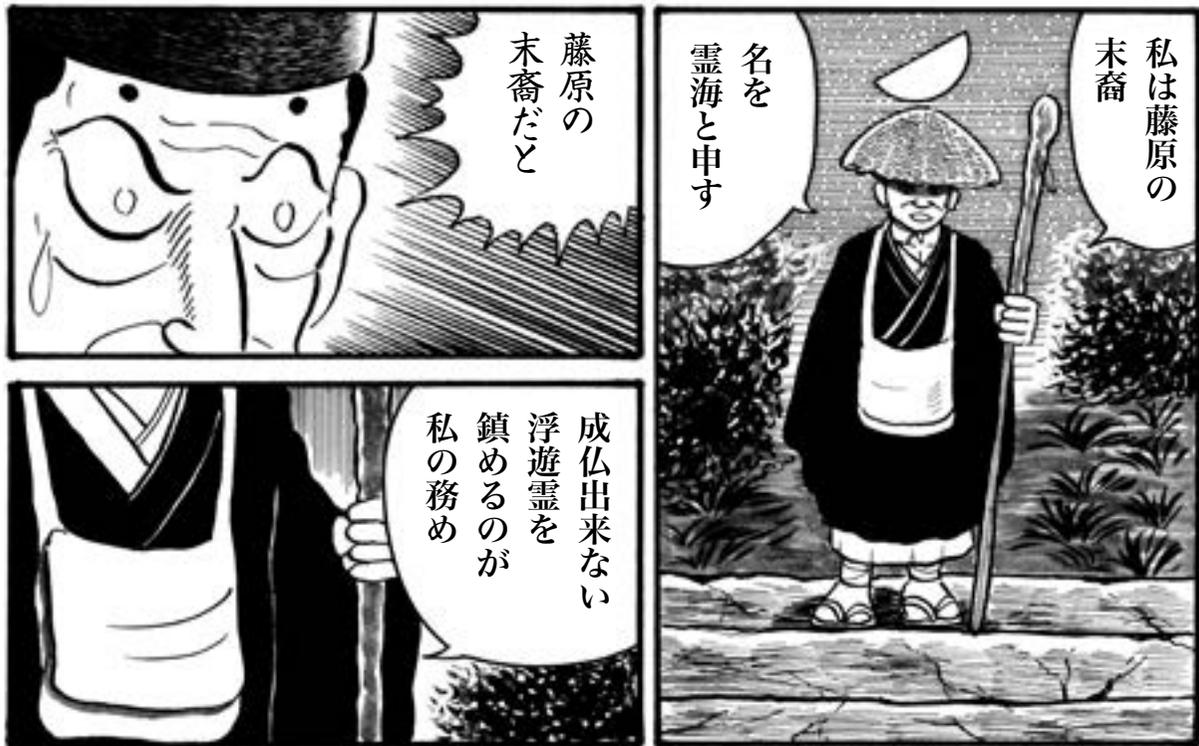
頭家を  
斬れ

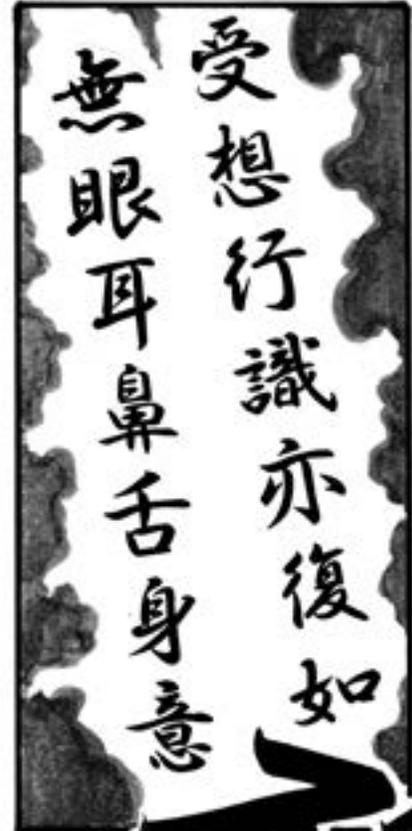
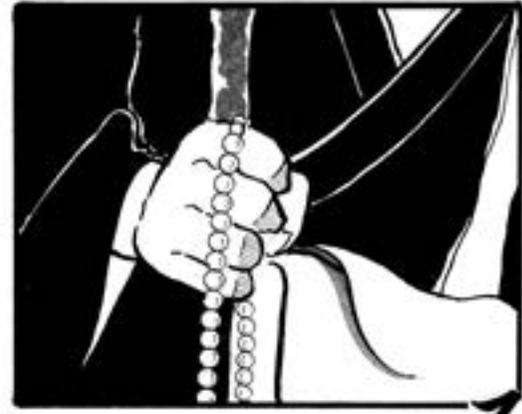
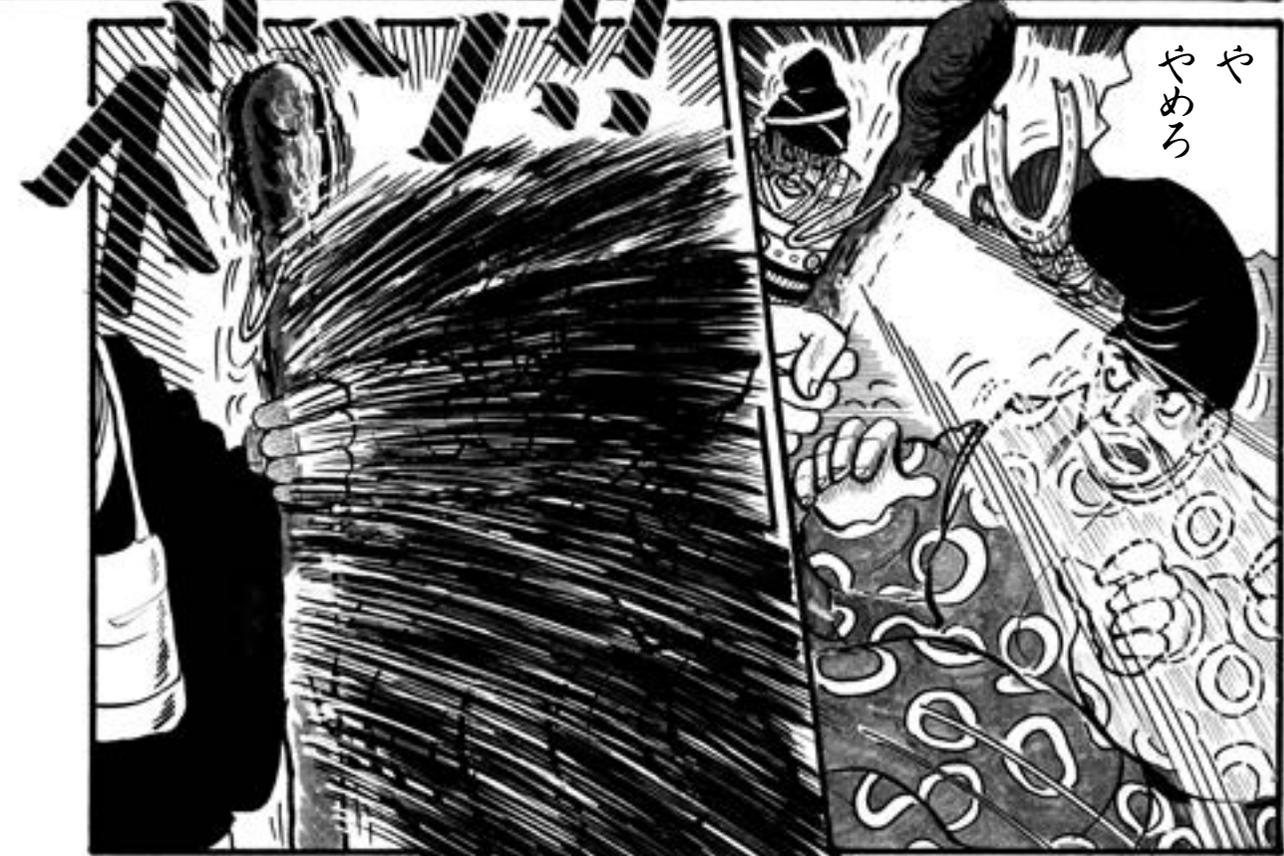


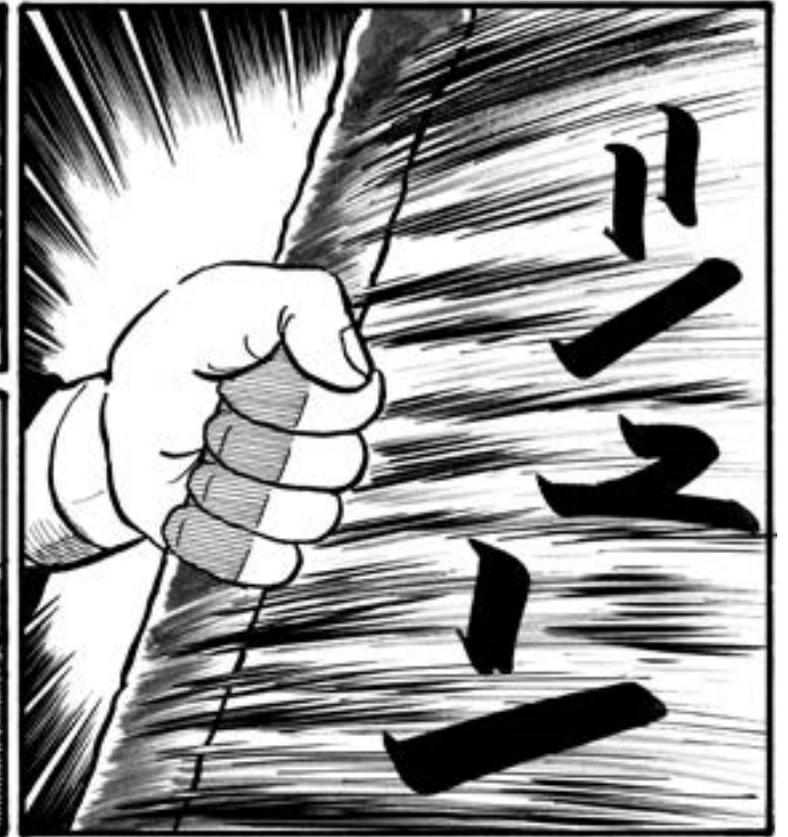
呪文か



不生不滅不  
垢不淨不增不  
減









その後 崇り坂の  
修復工事を行ったが  
不可解な事故は  
二度と起きなかった

イチニイ  
サンシイ

除霊僧侶霊海 おわり



私の仕事は  
終わった：